

会議名	第3回港区放課GO→クラブせいなん運営事業候補者選考委員会
開催日時	令和3年11月15日(月曜日)午後3時から午後4時25分まで
開催場所	赤坂地区総合支所会議室
委員	出席者6名 阿部委員長、田中委員、秋山委員、中島副委員長、白井委員、関委員 欠席者なし
事務局	赤坂地区総合支所管理課
会議次第	1 開会 2 第二次審査実施概要について 3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施 4 第二次審査結果及び事業候補者の選定について 5 その他 6 閉会
配付資料	・次第 ・資料1 第二次審査実施概要 ・資料2 第二次審査採点基準表 ・資料3 第一次審査・第二次審査集計結果 ・資料4 第2回選考委員会議事録概要 ・参考資料1 第一次審査集計結果 ・参考資料2 事業候補者選考基準 ・参考資料3 仕様書(素案)
会議の内容	
A委員	【1 開会】 (委員長より閉会の挨拶)～詳細省略～ 【2 第二次審査実施概要について】 (事務局より資料1について説明) 【3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施】 (A事業者 プレゼンテーション及びヒアリング) 施設長候補者の経歴について長い間やられていますが、その途中で、例えば2016年9月から11月で切れていて、何か理由があればお教えいただきたい。
A事業者	私自身、いろいろなことを経験したいと思っていた時期がありましたが、もう一度こちらで頑張っていきたいと思い、また働くようになりました。

A委員	提案書の3安全対策・危機管理のところで、事故とか怪我が起きた場合には学校にも速やかにご報告しますと、この一言で終わっていて、報告した後、事故や怪我についての対応として何かありますか。
A事業者	事故が起きたことに対して、本部や職員全員で原因究明をし、再発防止策を考え、学校へも報告させていただきます。
A委員	SDGsを取り上げていることは非常にいいなと思いますが、文化を知るプログラムについて、これまでやってきたもの、あるいは今後予定しているプログラムについて具体的にどういうものかご説明いただけますか。
A事業者	地域の方や外部講師をお呼びして茶道教室や華道教室を行っています。また、根津美術館が近くにありますので企画展に行けたらと思っております。
A委員	これまで子供たちはどんな感じで取り組めていた感じですか。
A事業者	興味を持つお子さんが多くて、先生方の話を興味津々で聞いて真剣に取り組んでいました。
B委員	保育園や幼稚園との情報共有の体制を聞きたいのですが、今の勤務されているところでは、そういった情報共有はされていますか。
A事業者	毎月おたよりを園内に掲示をしていただいて、新1年生が入学する前には担任の先生と情報共有をしております。また、交流イベント等も年数回行っていますので、施設を体験できる機会を設けています。
B委員	近隣の児童館との連携はどのように考えていますか。
A事業者	一緒にドッジボール大会やサッカー大会など子供達同士が交流をもてる機会をつくっていきたいと思っています。
C委員	統括責任者の下に様々な方々がいますが、ボランティアで入っている方はいるのでしょうか。
A事業者	常にボランティアで入っている方はいません。
C委員	そうすると、ボランティアで入っている方の研修体制はどうなっているのが1点目の質問と、もう一つ安全管理について、大きな台風や地震が来た時

	<p>の放課GO→の動きについて教えてください。</p>
A事業者	<p>年3回地震に関しての避難訓練を行っております。子供たちには、地震、災害、不審者対応について、必ず学期に1回訓練を行っております。</p>
C委員	<p>訓練は分かりますが、大きな台風や地震が来た時に、どのような動きをするのか詳しく教えてください。</p>
A事業者	<p>訓練をするのはもちろんですが、青南小学校の校庭や隣の第二グラウンドが近隣の避難所と聞いておりますので、そちらへの避難体制を確実に行う、かつ、連絡も重要と思っておりますので、保護者や関係機関に連絡ができるものは常日頃から確認しておりますので、そちらを持って、大人と子供も含めて早急に避難をすることが一番かと思っております。また、ボランティアの方の研修に関してはプログラムがあります。送りコースに関しては、サポーターと一緒に送りコースを歩いたりしながら研修をしております。また、サポーター懇談会を通していろいろな課題を抽出しながら運営を続けております。</p>
D委員	<p>まず一点目、リーダーとして、常日頃職員管理について意識していることや配慮していることがあれば教えてください。二点目は、通常放課GO→クラブは学校の建物内にありますが、ここは学校の建物と違うところにあると思います。その点で、小学校との連携を特に意識していることがあれば教えてください。三点目は、人材確保で特に力を入れていることがあれば教えてください。</p>
A事業者	<p>一点目については、一人一人とコミュニケーションを取りながら信頼を得ることを意識しています。2点目については、毎月お便りを校長先生へお持ちして直接顔をあわせてご挨拶をさせていただき、学校のスケジュール等も副校長先生に確認をとり、学校の様子も知るようにしています。学校公開などの機会には職員として積極的に見学に行きます。3点目の人材確保について、以前は本社で面接をしておりましたが、現場での面接に切り換えております。現場で面接することによって、雰囲気を知っていただく、ミスマッチを防ぐことをしております。また、ホームページにて求人採用、仕事内容等を紹介し、それを見ていただき対応に繋げております。</p>
F委員	<p>人権の部分でグローバルな視点を持ってとりましたが、施設長候補者として、どんなイメージを具体的に持っていて、どう職員に働きかけているのかお話いただけたらと思います。</p>

A事業者	港区のお子さんは海外のご両親をお持ちの方もおりますので、比較的、子供達同士でも自然と多国籍に慣れていると思いますが、意識のない差別も問題になると思いますので、どの児童も同じように接していくように職員の中では話し合いをしています。子供達にも、そういったことが浸透するように、気になることがあれば児童と話しをして解決していければと思います。
F委員	いつでも相談にのりますよという姿勢と、「子ども面談」の期間が設けられているのと、ちょっと温度差があるような気がします。あえて相談の期間を設けるのはどんなお考えでしょうか。
A事業者	「子ども面談」の期間を設けるのは、子供達が話したい指導員を指名して話せる環境がありますので、何か悩み事がある児童もいれば、特に悩みはないけど話したいという児童や、いろいろな先生と話したいという子供達もでてくるので、いい時間に繋がっていると思います。もちろん日頃、何か悩みがある子に対しては、場所を変えて話を聞くことはあります。
F委員	いろいろな子供達の課題もあり、不安定な社会情勢の中で、施設長候補者として、これからやってみたいことは何かありますか。
A事業者	地域の皆さんとの交流を深めていきたいと思っていまして、施設同士でのスポーツイベントやお祭りに来ていただいたり、遊びに行けたらと思っています。
委員長	楽しそうな種類のイベントが多いですが、年間だとかなり大変かなと思いますが、提案書に書いてあるものを全部おやりになる予定でいますか。
A事業者	提案書に書いたイベントは基本的に行っていけると思っております。
委員長	実際におやりになった経験がありますか。
A事業者	はい。
委員長	これだけあると、体調等で参加できないケースもありませんか。
A事業者	そうですね。こちらで毎月スケジュールを作ってお便りを出しているのですが、イベントがあるから来るというお子さんもいますし、来たかったけど習い事で来られなかったこともあります。

委員長	お子さんの状況で出る選択がされるということですね。
A事業者	はい。
委員長	安全対策・危機管理について、何か起こった場合に保護者へ連絡をするのは当然だと思いますが、医療機関を受診するかどうか保護者が判断すると書いてありますが、これは事柄によるのではないかと思います。判断する責任者はどなたでしょうか。
A事業者	施設長から連絡がありまして、エリア統括マネージャーで確認をいたします。首から上の怪我に関しては、必ず受診するように促しております。
委員長	必ず受診出来るようになっているのですね。
A事業者	はい。
委員長	頭を打った場合は本当に心配ですので即対応が大事です。私の感じでは、施設長が最高責任者と思いますが、会社の方で判断すると考えていいですか。
A事業者	事故が起こった際は必ずエリア統括マネージャーに連絡があります。首から上の怪我に関しては、必ず受診するように促しております。
委員長	わかりました。あと、医療的なケアが必要なお子さんについて、場合によっては看護師を派遣すると書いてありますが、これもエリア統括マネージャーの判断ですか。
A事業者	看護師が必要な児童に関しては、支所の方と相談して派遣をしています。
委員長	こういう判断も施設長は加わらないのですか。
A事業者	施設長と言うよりは会社の判断になっています。
委員長	専門的な知識とか技能を持った人員を配置と記載がありますが、こういう人材が揃っているのですか。
A事業者	はい。専門的な知識を持った人材が揃っております。
委員長	どういうものを持って専門的知識だとお考えですか。

A事業者	必ず研修をさせておまして、東京都の支援員研修、専門の会社の研修や入社時研修、専門的な知識を必ず習得してから入社するようにしておりますので、研修が済んだ方に関して施設に入るようにしております。
委員長	どの程度の研修なのですか。
A事業者	入社時研修に関しては、WEBで約2、3時間の研修をしております。
委員長	それを専門知識技能とおっしゃるのですか。
A事業者	新規採用の職員に関しては入社時研修を受けさせております。その他、危機管理研修や発達障害研修等、いろいろ本社で用意しておりますので、そちらの研修を受講していただいております。
委員長	それも2時間程度ですか。
A事業者	いえ、入社時研修に関しては2時間程度ですが、危機管理研修や保護者対応研修等は年間を通じて何回か行っております。また階層別研修等は、年2回行っております。
委員長	エリア統括マネージャーは、どれくらいの頻度で現場に行かれて調整をされているのでしょうか。
A事業者	何かあった場合はすぐに駆けつけるように常にフリーにしており、週1回は巡回をするようにしております。月例ミーティング等もごございますので、全員集めて私も参加しております。
委員長	そのミーティングは他の施設の人と一緒にということですね。
A事業者	はい。
委員長	巡回の時はどれくらいの時間現場にいますか。
A事業者	午後からの育成時間はほとんどいます。
委員長	施設長候補者として、エリア統括マネージャーがいる時は、そこをどういうふうにご利用されていますか。

A事業者	エリア統括マネージャーが来た場合には、緊急性がないような悩みや職員同士の出来事、あと見てもらいたい児童について相談をし、実際に育成に入っ ていただいています。
委員長	その関係性はエリア統括マネージャー対施設長という感じですか。他の職 員は、エリア統括マネージャーと何か相談することはないですか。
A事業者	他の職員ともします。常に月例ミーティングには出ておりますので、何か相 談があれば私が入っております。特に施設長の下サブリーダーとも、常に コミュニケーションをとって、信頼関係を築くようにしております。
委員長	エリア統括マネージャーがご活躍されているのはよく分かりましたが、施設 長が職員と信頼関係を築く上で努力されていることはどんなことですか。
A事業者	職員も毎日来られる方だけではなく、週3日勤務の方がいらしたときも、一 人一人と対話をするように心がけています。
委員長	例えばどんな対話ですか。
A事業者	仕事を担当していた職員には子供達がすごく喜んでしたこととか、あとはテ レビの話をするときもあります。
委員長	わかりました。
事務局	審査はこれで終了となります。事業者の皆様ありがとうございました。 (A事業者退席) (採点・休憩)
委員長	【4 第二次審査結果及び事業候補者の選定について】 それでは審査に当たりまして評価したポイント等各委員から講評をお願い したいと思います。
A委員	提案書を踏まえて施設長候補者に質問したのが、何かあった場合に連絡をど うするのかということ、再発防止とか連携とか、提案書には書いていないけ れども、それを視野に入れているかどうか尋ねたつもりです。そのあたりは、 それなりに答えてくれたと思います。ただ、それ以外の部分で答えに詰まる

	<p>というか、いろいろ考えながら話しているのかなと思いますが、やはり委員からの質問の受け答えを見ていると非常に心配だなと思いました。何よりも、エリア統括マネージャーがどの位置にいるのか、この事業者の特徴かもしれませんが、施設長に現場の判断を任せる必要があると思いますが、任せられないのは育てていないというか、その能力を信じていないとまで思ってしまうような。支所に連絡するときも、間接的じゃなくて直接ストレートに報告するというのは大事だと思いますが、そのあたりはどう考えているのかと。ただ、こういう質問していくことによって、答えられなかったりする場合に、事業者が戻って反省をしながら、対応はどうするか考える機会になってくれれば本委員会もいいのかなと思いつつ聞いていたところもあります。だから、非常に厳しくというか、もう少し下かなと思いつつながらもこの点数としました。</p>
<p>B委員</p>	<p>提案書よりプレゼンテーションのほうが、全体的に具体的な話が聞けて良かったなという印象です。ただ、ヒアリングでは施設長候補者の頼りなさを感じました。責任者としての経験年数が3年間ある割には自信がないというのを強く感じました。ただ、質問の回答からは、現場での経験というのが見えてくるところもあり、職員として業務に誠実に取り組んできたんだなという事は伝わってきました。ただ、施設長としての不安は残り、保護者対応とか大丈夫なのかなという印象は持っていました。経験や自信のなさについては、エリア統括マネージャーのフォローに期待したいと思いますが、要望をできるのであれば、もう少し手厚いフォローをすとか、施設長としての育成システムをもう少し強化してもらえたらなと考えました。</p>
<p>C委員</p>	<p>私も施設長候補者として、もう少し自信があった方がいいかなと。緊張したのかなとは思いますが、やはり責任者という立場であれば、もう少し自分の考えを持っていた方がよかったかなと思いますね。特に、ボランティアの研修体制を聞きましたのは、いろいろな問題が出ていることがあるので、やはりきちんと考え方であるとか、子供たちの様子であるとかをしっかりと掴まなきゃいけないのかなと思ったのでこういう質問をさせていただきました。あとは、やっぱり大きな台風や地震になると、単独の動きではなく、学校といかに連携していくか、どうしても学校から離れていますので、子供たちを引き渡すためにどうするかというのは、もう少し学校と詰めていかなければいけないところもあるのかなと思いつつしたので、それを加味しながらこういうような採点にいたしました。</p>
<p>D委員</p>	<p>皆様方ご指摘の通り、施設長候補者が緊張されていた部分もあると思われますけれども、ちょっと疑問が出てしまうところが多々見受けられましたが、</p>

F 委員	<p>エリア統括マネージャーを含めた本部全体のバックアップで対応できるというところ、その辺の安定性が確保できるということで評価をしたところでは。</p> <p>施設長候補者に関しては皆さんと同じです。やはりリーダーシップが本当に大丈夫かなというのと覇気がないのが残念でした。エリア統括マネージャーの方がその分をしているとは思いますが、現場が主体的に判断すべきことができるのか。また、施設長候補者自身に覇気がないところが子供たちにどう影響してくるか。遊びの部分とか事業運営の部分で、施設長自身がきちんと自分の理念を持って取り組めるのか、不安があります。いろいろなメニューに対してこなしていくのではなくて、子供にとってというところをきちんと押さえていくことが業務責任者には求められ責任を果たせるかを判断し、12点の評価です。</p>
委員長	<p>施設長候補者は私も懸念されました。それから、エリア統括マネージャーが施設長ですね、それで今の施設長候補者は予備候補者という役割分担になっているかなと思いました。エリア統括マネージャーがしっかりしているし、全部率いていますけど、あくまでもサポート役ですから。そこを間違えていると私は思います。それから、施設長候補者についてですが、現場の子供の対応って即ですよ。どう答えるかという中に教育の質があります。そこが全然出てこない。それで子供さんのイベントは多いんですよ。それはある程度楽しいのが揃っているんで、刺激もあるからいいけれども、その子供の姿を表現するのに、楽しいとしか言いようがない、楽しさの中に何が大事なのかというのが、見えていないのかなというのがものすごく不安になりました。それから、もう一つエリア統括マネージャーが間違えているのは、書類審査でもすごく気になった点ですが、やはり現場の責任者は施設長です。事故が起こった場合、エリア統括マネージャーが責任者ですとおっしゃった。サポートはいいですが、頭を打ったらすぐ救急車じゃないですか。それから、医療的ケアの子供で聞きましたけど、専門知識やそれに伴う技能というものは、あんな短時間に学習できるわけがありません。およそ間違えてはいけないポイントはある程度できますが対応まではいかないと思います。そこが分かっていない以上危険と思ったので、少し研修のあり方やエリア統括マネージャーが考えを改めない駄目だと思いますね。その辺りは厳しく付けましたが、他の点は一応基準以上でした。</p>
C 委員	<p>同じ子供ですけど、学校とは全然違う組織で行っている場所も違うので、そのところはしっかりやってもらいたいなど。ただ、子ども会議というのは非常に子供達に必要なことだなと思っていて、これはすごく良いことだと思</p>

	<p>っています。みんなで過ごしやすい場所を異学年の交流の中でどうしたらできるのというところが、とても大事なことだなと思いますね。</p>
<p>委員長</p>	<p>イベントがメニューになっていて子供達を選んでいいんですよ。たくさんメニュー揃えているからやる方はすごく大変で、しかし、子供にどう生きるのか全然見えてこないのはもったいないなと思いました。</p>
<p>委員長</p>	<p>各委員からの講評を踏まえ、ご自身の採点について修正はございますか。私は、項番5「総合評価」について16点を12点に修正します。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは集計結果について報告させていただきます。 A事業者は、第一次審査 870 点、第二次審査 396 点、総合 1,266 点です。加点項目含めた満点は 1,840 点ですので、A事業者は全体の 68.8%を獲得し、選考基準の 60%は確保しています。</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、事務局からの集計結果をもちまして、本委員会ではA事業者を事業候補者として選定することとしますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(委員一同、異議なし)</p> <p>【5 その他】 (事務局より資料4について説明)</p> <p>【6 閉会】 (委員長より閉会の挨拶) ~詳細省略~</p>